

園芸部

第44回花き品評会開催

9月1日（金）、JA農産物直売所「愛情館」で花き品評会を開催しました。

今回は、カスミソウ、リンドウ、トルコギキョウ、小菊、花木類など15種類以上の品目で174点の出展がありました。丹精込めた花の数々に審査も白熱しましたが、その中から、金賞3点、銀賞12点、銅賞15点が決定しました。生産者の皆様、お忙しいところ出展いただき誠にありがとうございました。

9月2日（土）は一般公開とアレンジメント教室、9月3日（日）は出展品の販売を行いました。



審査の様子



左から
東北農政局長賞、農林水産大臣賞、福島県知事賞

アレンジメント教室には、お子様から大人の方まで、40人が参加され、思い思いの作品を完成させました。「楽しかった」「また機会があれば参加したい」などの感想があり、福島の花に触れ、知っていただく機会となりました。

なお、金賞受賞者は次のとおりです。

- 農林水産大臣賞…ダリア（JA東西しらかわ 有村明希子）
- 東北農政局長賞…新鉄砲ゆり（JA夢みなみ 渡辺 清美）
- 福島県知事賞…リンドウ（JA福島さくら 合子りんか）

10月にお届けする材料を使用したレシピです

豚肉と根菜の土鍋蒸し

材 料

・麓山高原豚もも薄切り … 150g	A	しょう油 …………… 大さじ1
・レンコン…………… 100g		酢…………… 大さじ1
・ごぼう…………… 50g		砂糖…………… 大さじ1/2
・大根…………… 100g		すり白ごま…………… 大さじ2
・小ねぎ…………… 2本		
・酒…………… 150cc		

作り方

- ①レンコンと大根は皮をむき2～3mm幅のいちょう切りにする。ごぼうはさがき、小ねぎは斜め切りにする。
- ②土鍋に①の野菜を敷き、豚肉をのせ、酒をまわしかけて蓋をして中火で蒸し、沸騰したら弱火で5分蒸す。
- ③②が蒸しあがったら、混ぜ合わせたAのタレをかけ小ねぎを散らす。

- 材料は2人分が基準になっております。
- 盛付例はイメージです。
- ※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。



東北地方の長期予報

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わってでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、低い確率70%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

9月23日～10月22日			
【気 温】東北地方	40	40	20
【降 水 量】東北地方	30	40	30
【日照時間】東北日本海側	30	40	30
東北太平洋側	20	40	40

<気温経過の各階級の確率(%)>

9月23日～9月29日	20	30	50
9月30日～10月6日	70	20	10
10月7日～10月20日	30	40	30

凡例： 低い（少ない） 平年並 高い（多い）
（仙台管区気象台 発表）

編集後記

新米の季節になりました。年間を通して美味しいお米が流通していますが、炊きたてにふくら、ツヤツヤとした新米に、毎年のことながら心が踊ります。

日本人の主食である米の起源を辿ると、約1万年前の中国長江流域、湖南省周辺の発祥が有力だそうです。日本に米が伝わってから長い年月が過ぎましたが、今でも日本人にとってはなくてはならない存在ですね。定着したのは、日本の気候風土が米作りに適していたことかもしれませんが、美味しいお米を作ろうと、農家さんが努力してきたことが一番なのではないかとも思います。

子供の頃「茶碗の米粒は一粒も残さずに食べなさい」と習いました。食事が欧米化して米離れが進んでいるといいますが、「やっぱり日本のお米はおいしい!」。新米を一粒残らず平らげて、今年も農家さんに感謝です。

今月のイベント

10月13日	米穀部	ふくしまの米求評懇談会
10月14日	畜産部	平成29年度東京食肉市場まつり～15日
10月21日	畜産部	福島県ホルスタイン共進会
10月22日	管理部	ユナイテッド福島ホームゲーム
10月31日	管理部	ふくしまからはじめよう食の商談会



ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

10月2日	燃料部	酵素灯油について
10月3日	米穀部	営農相談室
10月9日	園芸部	品目提案について
10月10日	畜産部	営農相談室
10月16日	営農企画部	農業技術センター業務について
10月23日	園芸部	種苗情報
10月30日	米穀部	ふくしま米 販売情勢

「里のほほえみ」特性一覧 県農業総合センターより

品種名	里のほほえみ	タチナガハ
開花期	8月1日	7月31日
成熟期	10月23日	10月23日
主茎長 (cm)	75	73
最下着莢高 (cm)	23.0	20.6
稔実莢数 (/本)	58.6	68.1
子実重 (kg/a)	31.9	32.3
収量比率	99	100
百粒重 (g)	42.3	36.6
品質等級	2	2
蛋白含量 (%)	14.9	14.9
ウイルス病抵抗性	強	中
シストセンチュウ抵抗性	弱	弱
裂莢性	難	難

H17～H22、26 奨励品種決定予備調査、H27・28 本調査、H28 現地調査JA全農「里のほほえみ」導入実証事業（H27～28）及び育成地のデータ



左：里のほほえみ 右：タチナガハ

1. 品種特性と普及
「里のほほえみ」は大粒でタンパク質含有量が高く豆腐などの加工適性に優れており、最下着莢位置が高いため機械収穫に適しています。

平成29年2月に採用された県奨励品種で、県内では今年50ha程作付が見込まれます。栃木、茨城、新潟、山形など本県と隣接する県の多くです。すでに奨励品種として採用され、宮城、群馬においても採用検討されており、なかでも栃木県は、平成27年産から「タチナガハ」から「里のほほえみ」へ全面的に切り替えました。

2. 普及対象地域
中通りと浜通りの平坦及び会津平担の一部としますが、成熟期が「タチナガハ」並と遅く、会津地方では登熟不良や雪害の恐れがあることから、展示圃などにおいて成熟期と収穫適期を把握したうえで栽培適地に普及し、「タチナガハ」「あやこがね」とともに主要品種として生産振興を図ります。

3. 展示圃の設置

県による展示圃3か所（白河、喜多方、小高）全農による展示圃6か所（国見、郡山、船引、いわき、矢吹、喜多方）計9か所設置し、地域特性を確認するとともに生産振興を図ります。

4. 種子

29年産（30年播種用）も県外種子で対応予定です。30年産より県産種子（31年播種用）を開始する見込みのため、関係機関と連携し採種圃の設置地域等について検討します。